

利用しませんか？ 日常生活用具給付制度

身体障害者手帳を持つ目が不自由な人が利用できる制度の一部を紹介します。費用の負担は所得の状況によって変わります。給付条件など詳しくはお問い合わせください。

種類	対象
盲人用時計	身体障害者手帳 を持つ視覚障害 2級以上の人
盲人用体重計・ 体温計	
活字文書 読み上げ装置	
ポータブルレコー ダー（プレクストーク）	
活字文書読み上げ装置	
電磁調理器	身体障害者手帳 を持つ人
拡大読書器	



▲盲人用音声腕時計 ▲拡大読書器

☎福祉課福祉係 ☎ 63-1406

ボランティアコーディネーターの声を聞く

Interview 3



社会福祉協議会
ひらかわよしはる
平川喜晴さん

● 純粹に好きなことが
● 誰かの笑顔に
● つながることもあります ●

荒尾市ボランティア連絡協議会（通称：ボラ連／社会福祉協議会内）では、ボランティアをしてほしい人になりたい人のコーディネートを行っています。

ボランティアと聞くと、被災地での炊き出しや介護施設での手伝いなどを思い浮かべる人も少なくないと思います。けれど、ボランティアってもっと幅広いんです。趣味のサークルを頑張っている人が介護施設やイベント会場で日頃の練習の成果を披露する、得意な農作業やお手玉遊びを子どもたちに教える、経験を生かして子育て中の人の相談相手になる—それも、ボランティアになるんです。

ボラ連に登録してもらえると、皆さんの力を求めている人たちを紹介することができます。さまざまなニーズに応えるためにも、たくさんの団体や個人に登録してほしいですね。助成金の給付や会議室の無料貸し出しなどいろいろなメリットもあります。出張説明会も行っているのです、お気軽にお尋ねください。

☎社会福祉協議会ボランティアセンター ☎ 66-2993

今回、大好きな朗読を生かして、声の広報を届ける朗読サークルあらおの活動を紹介してきました。朗読サークルの皆さん以外にも荒尾には好きなことを一生懸命頑張っている人たちがたくさんいます。自分たちの努力の成果を人に見せたり、教えたりすることは少し勇気のいることかもしれませんが、「迷惑だと思われるかもしれない」と、ちゅうちょしてしまう人もいます。

サークル利用者の川後田さんは「先日、散歩の途中に学生さんが元気にあいさつしてくれたんですよ」と、笑顔で話していました。目が見えないため、人から声をかけられるときの喜びはひとしおと言います。初めて会ったのに、勇気を出して声をかけてくれた—その優しさがとっても嬉しかったそうです。

好きなことや得意なことをみんなでシェア（共有）してみませんか。きっと誰かの笑顔に出会えるはずです。

プロと遜色ないくらい素晴らしいです

朗読サークルから届くCDをいつも楽しみにしています。家の中で過ごすことが多いので、声の広報で今の荒尾を知ることができ、助かっています。

普段からラジオでも朗読を聞いていますが、サークルの皆さんの朗読はプロと遜色ないくらい素晴らしいと思います。とても聞きやすく、読み手の個性も感じることができます。サークルの皆さんの努力には頭が下がります。文章を単に読み上げるだけでなく、「かわいい女の子が笑っている」など、写真のこともきちんと説明してもらえるので、自然とイメージできてうれしいです。

以前はカセットテープでしたが、3年前から専用機器を使ってCDで朗読を聞けるようになりました。使い方は簡単で、何回も聞きたいところはバックアップをとることもできます。広報紙を読む人たちが読みたいところだけを読むように、聞きたいところだけを聞くこともできるんですよ。

朗読の中でも、特に生のステージでの朗読は一度きりのよさがあるので、大好きです。7月に行われるサークルのイベントにも足を運べたらと思っています。

Interview 1



かわはたひろみ
川後田広美さん（本村）

趣味は音楽鑑賞・花の世話・ピアノ。ピアノは60歳を過ぎてから始めたそうです。

“声”を受け取る人の 声を聞く

とても努力されていると思います。

Interview 2



たばたしひで
田畑俊秀さん（山浦町）

特技はデジタルの操作全般。アマチュア無線の試験は一発で合格したそうです。

声の広報と社協だよりを欠かさずに聞いています。特に広報紙のまちの話題と催しの案内は何度も繰り返し聞いていて、お気に入りです。荒尾の今の様子を知れたり、これから行われるイベントの情報を入手できたりするので、うれしいですね。

新聞を朗読したCDも届きます。毎回、興味深いコラムを選んで朗読してあるので、いろいろなことを考えるいい機会になっています。

サークルの皆さんはどんなに長く朗読しても、疲れを感じさせず、一定の調子で読み上げているので、いつも感心させられます。見えないところで、とても努力されているのだと思います。朗読してほしい本のリクエストなどもできる範囲で応えてくれます。本当にありがたいです。

CDに録音されている小説などは専用機器がないと聞くことはできません。私たちだけでなく、一般の人にこそサークルの皆さんの朗読を味わってほしいと思います。イベントで朗読の披露も行っているそうなので、ぜひ一度、体感してもらえたらと思います。